

カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church
 年間第14主日 14th Sunday in ordinary time
 行きなさい。私はあなたがたを遣わす (ルカ 10・3)
 “Staff off now, I am sending you” (Lk10・3)

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15
 1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo
 Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449
<http://kasaicc.net/>



主日のミサ
 土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)
 日曜日 Sun. 10:00am (日本語) & 4:00pm (English)



今日の行事：合同地区集会第2部 ①市川・行徳地区

②浦安地区

幼児洗礼

ベッロージ 和(にこ)ちゃん (0才)

合同地区集会Ⅱ部のお知らせ

7月3日(日)ミサ後 市川・行徳地区
 浦安地区

教会学校キャンプ

今年の教会学校のキャンプは
 日程：8月5日(金)～7日(日)
 対象：小学校1年生～6年生
 サブリーダーとしての中高生

場所：御岳山荘

参加費：10,000円

多くのお子さんの参加をお持ちしています。

聖書勉強会

聖書勉強会を毎月第4日曜日のミサ後
 11:30より小聖堂で行います。たくさんの方の参加をお持ちしています。
 (宣教部：シスター植木)

献堂50周年記念事業第4期献金報告

2016年第4期中間報告 (5月末現在)

申込者数：110名 (目標：200名)

献金合計：2,223,554円 (目標：3,000,000円)
 1期からの合計は 10,429,817円です。今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。ご質問などありましたら本橋俊和・佐藤隆一にお聞きください。

Kasai Church 50th Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary totals **10,151,817 yen**. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

Catechism for Graders & Parents

Every Sunday from 3:00pm, Catechism for elementary graders is taught, Interested applicants, please register to Fr. Jess

50周年ロザリオの祈りの報告(2016年分)

5月は9名 143環です。累計で48名 749環です。今年は3,000環が目標です。よろしくお願い致します。(50周年委員会)

ウルスラ修道会でのミサ

これからの予定は、7月21日(木)です。おいしいランチと祈りのひと時をご一緒に。皆様ご参加下さい。

共同祈願の祈り

神よ、あなたの道を
 示してください。

その他今後の予定

07月10日(日) 年間第15主日 教会委員会
07月17日(日) 年間第16主日 原爆慰霊祭 中掃除
Bp. Ruperto Santos (4時ミサ)
07月23日(土) 松尾太ブラザー助祭叙階式
07月24日(日) 年間第16主日

今週の掃除は7月09日(土)

国際グループです。皆様ご参加ください。
This Week's Church Cleaning Duty
July 9th Saturday
International Group

掃除当番の方々へ：トマスホールの椅子は、体の不自由な方が通れるように聖堂との境からタイル2枚分(約60cm)あけて並べて下さい。

献堂50周年記念事業準備

葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心を一つにして準備作業を行いたいと思います。ご協力をお願い致します。



『年間第14主日』C年

今日の福音 ルカによる福音 (10:1-12, 17-20, 又は10:1-9)

〔そのとき、〕主はほかに七十二人を任命し、御自分が行くつものすべての町や村に二人ずつ先に遣わされた。そして、彼らに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に願いなさい。行きなさい。わたしはあなたがたを遣わす。それは、狼の群れに小羊を送り込むようなものだ。財布も袋も履物も持って行くな。途中でだれにも挨拶をするな。どこかの家に入ったら、まず、『この家に平和があるように』と言いなさい。平和の子がそこにいるなら、あなたがたの願う平和はその人にとどまる。もし、いなければ、その平和はあなたがたに戻ってくる。その家に泊まって、そこで出される物を食べ、また飲みなさい。働く者が報酬を受けるのは当然だからである。家から家へと渡り歩くな。どこかの町に入り、迎え入れられたら、出される物を食べ、その町の病人をいやし、また、『神の国はあなたがたに近づいた』と言いなさい。

《しかし、町に入っても、迎え入れられなければ、広場に出てこう言いなさい。『足についたこの町の埃さえも払い落として、あなたがたに返す。しかし、神の国が近づいたことを知れ』と。言うておくが、かの日には、その町よりまだソドムの方が軽い罰で済む。』

七十二人は喜んで帰って来て、こう言った。「主よ、お名前を使うと、悪霊さえもわたしたちに屈服します。」イエスは言われた。「わたしは、サタンが稲妻のように天から落ちるのを見ていた。蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を、わたしはあなたがたに授けた。だから、あなたがたに害を加えるものは何一つない。しかし、悪霊があなたがたに服従するからといって、喜んではいない。むしろ、あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。』

聖書新共同訳より引用

A Reading from the Holy Gospel according to Luke (10 : 1-12, 17-20)

Spreading the Good News

The Lord appointed seventy-two others and sent them out ahead of him, in pairs, to all the towns and place he himself was to visit. He said to them, "The harvest is rich but the laborers are few, so ask the Lord of the harvest to send laborers to his harvest. Start off now, but remember, I am sending you out like lambs among wolves. Carry no purse, no haversack, no sandals. Salute no one the road. Whatever house you go into, let your first words be, 'Peace to this house!' And if a man of peace lives there, your peace will go and rest on him; if not, it will come back to you. Stay in the same house, taking what food and drink they have to offer, for the laborer deserves his wages; do not move from house to house. Whenever you go into a town where they make you welcome, eat what is set before you. Cure those in it who are sick, and say, 'The kingdom of God is very near to you.'"

"But whenever you enter a town and they do not make you welcome, go out into its streets and say, 'We wipe off the very dust of your town that clings to our feet, and leave it with you. Yet be sure of this: the kingdom of God is very near.' I tell you, that on that day it will have gone less hard with Sodom than with that town."

The seventy-two came back rejoicing. "Lord," they said "even the devils submit to us when we use your name." He said to them, "I watched Satan fall like lightning from heaven. Yes, I have given you power to tread underfoot serpents and scorpions and the whole strength of the enemy; nothing shall ever hurt you. Yet do not rejoice that the spirits submit to you; rejoice rather that your names are written in heaven."

This is the Gospel of the Lord

いつくしみの特別聖年のための祈り

司祭：主イエス・キリスト、

全員：あなたは、わたしたちが天の御父おんちちのようにいつくしみ深い者となるよう教え、あなたを見る者は御父おんちちを見る、と仰せになりました。

み顔を示してくださればわたしたちは救われます。あなたの愛に満ちたまな ざしによって、

右側：ザアカイとマタイは富への執着しゅうちやくから解き放たれ、姦通の女とマグダラのマリアは、この世のものだけに幸せを求めることから解放されました。ペトロはあなたを裏切った後に涙を流し、悔い改めた盗人ぬすびとには樂園が約束されました。

左側：あなたはサマリアの女に、「もしあなたが神のたまものを知っていたなら」と語られました。このことばを、わたしたち一人ひとりに向けられたことばとして聞かせてください。あなたは、目に見えない御父の、目に見えるみ顔です。

右側：何よりもゆるしといつくしみによって、自らの力を示される神のみ顔です。

教会がこの世において、復活し栄光に満ちておられる主のみ顔となりますよ うに。

左側：あなたは、ご自分に仕える者が弱さを身にまとい、無知と過ちの闇の中を歩む人々を、心から思いやることができるようお望みになりました。

全員：これら仕える者に出会うすべての人が、神から必要とされ、愛され、ゆるされていると感じることができますように。あなたの霊を送り、わたしたち一人ひとりに油を注ぎ、聖なるものとしてください。神のいつくしみの聖なる年が、主の恵みに満ちた一年となり、あなたの教会が新たな熱意をもって、貧しい人により知らせをもたらし、捕らわれ、抑圧よくあつされている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げることができますように。

司祭：この祈りを、いつくしみの母であるマリアの取り次ぎによって、御父と聖霊とともに世々に生き、治めておられるあなたにおささげいたします。アーメン。

いつくしみの特別聖年をすごすために

免償（注1）をいただく為に例えば次のような清めと償いの行いが勧められています。

- 1) 指定された聖堂を訪問（注2）して所定のお祈りをし（教皇による特別聖年の祈り）、信仰宣言を唱える。
- 2) 司祭からゆるしの秘跡を受けまた聖体拝領する。
- 3) 聖書を通して神の慈しみを深く黙想する。
- 4) 神のいつくしみになつた行いを実行する。

注1：「免償」とは教会が定めた条件のもとに償いの効果をもたらす罰を免除することです。

注2：指定聖堂は東京カテドラル聖マリア聖堂、築地教会、神田教会、麹町教会、八王子教会、西千葉教会です。（東京教区の歴史を振り返っていただきたいという思いからです）